

北海道中小企業新応援ファンド事業 2次募集のお知らせ

募集期間 令和3年9月1日(水)～**9月24日(金)** 【17時必着】

【注目情報】地域資源活用型事業化実現事業が使いやすくなりました！

- ◆札幌に出向いてのプレゼンテーションがなくなりました。
- ◆地域資源（道内産）を自由に設定できるようになりました。

募集事業名 (対象者)	助成対象の取組 [対象経費]	助成 限度額	助成率
創業促進 支援事業 (創業者) ※1	道内に主たる事業所を設けて新規に事業を開始する取組 原材料費 外注加工費 技術導入費 デザイン開発費 試験依頼費 産業財産権等取得費 職員旅費 出展料 専門家謝金 設立登記費 事務所等改装費 広告宣伝費 等	100万円	1/2 以内
地域資源 活用型事業化 実現事業 (道内の中小企業者等 農工商連携事業計画認定事業者※2)	地域資源※3の活用又は農工商連携による 新商品・新サービスの開発から販路開拓までの 事業化実現に向けた一連の取組 原材料費 外注加工費 デザイン開発費 試験依頼費 先行技術調査費 出展料 等	150万円	
製品開発 チャレンジ支援事業 (道内の中小企業者等)	本格開発着手前の事業構想の実現に向けた 事前検証・検査・分析等の取組 (既存製品の改良に向けた取組にも活用可能) 原材料費 外注加工費 試験依頼費 共同研究費	50万円	

※1 助成金交付決定後、道内で1年以内に新規に事業を開始する個人又は中小企業者（令和2（2020）年4月以降に創業したものも含む。）

※2 「農工商等連携事業計画認定事業者」とは、農工商等連携事業計画について国から認定を受けている事業者（計画期間内の事業者に限る。）

※3 「地域資源」とは、次のいずれかに該当するものです。

- ・地域の特産物である農林水産物又は鉱工業品、地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術、文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

地域資源の活用の一例

- ひまわり油を配合した化粧品開発 ●タラを使ったふりかけ開発 ●エゾシカ肉を使ったペットフード
- ハスカップを使ったクラフトビール開発 ●道南スギ・トドマツを活用した家具の開発

※北海道食品機能性表示制度ヘルシーDoに係る機能性素材のヒト介入試験実施は対象となります。

ヘルシーDo 詳細については、HP(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/ks/hyouziseido.htm>)をご覧ください

[応募方法]

- ・募集要項及び応募書類の様式は、当センターのホームページからダウンロードしてください。
- ・募集要項をご覧の上、助成金助成事業計画書及び必要書類を下記宛先に提出してください。
なお、事業や対象経費などを事前に確認いたしますので、書類提出前にお電話等でご相談ください。
- ・提出先

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階

（公財）北海道中小企業総合支援センター 宛て【支部では受付していません】

[留意事項]

- ・申請内容を審査の上、採否を決定します。
- ・地域資源活用型事業化実現事業は評価委員会で電話等により助成事業計画の質疑を行います。
なお、創業促進支援事業、製品開発チャレンジ支援事業については書面による審査となります。
- ・同一年度において、当該事業の内容の全部又は一部を対象として、国（独立行政法人を含む。）又は道の補助金が交付される場合、補助の対象とすることはできません。
- ・採択された場合、申請者名、申請者所在地（市区町村）、事業テーマは公表されます。

[活用事例] このような活用をご検討ください！

創業促進支援事業 ～創業時の事業展開に活用～

大規模商業施設内でのカフェ事業展開のための事業に活用

想定される対象経費

- ・季節ごと提供する新商品スイーツPR媒体のデザイン開発費や
自社HP製作費



地域資源活用型事業化実現事業 ～新商品開発と販路開拓に活用～

道産木材を使用したオリジナルデザイン食器の開発と海外への
販路開拓のための事業に活用

想定される対象経費

- ・試作品製作に掛かる原材料費、外注加工費、試験依頼費、
海外で開催される展示会への出展費



製品開発チャレンジ支援事業 ～技術の確立・検証のために活用～

新たなIoT機器の本格開発着手前にデバイス間通信方法の確立・検証に活用

想定される対象経費

- ・通信モジュール試作に必要な原材料費や検証に必要な試験依頼費



応用編 補助金を2回活用して製品化・販路開拓へ！

ステップ1 技術の検証

「製品開発チャレンジ支援事業」を活用

想定される対象経費

- ・試作品開発のための原材料・副材料費、試験検査依頼費
⇒ 顧客の要望に応えるため製品開発に必要な技術を検証し、製品開発
の目途がたった!

ステップ2 製品化

「市場対応型製品開発支援事業（中小企業競争力強化促進事業）」を活用

想定される対象経費

- ・製品開発のため原材料費、デザイン開発費、販路開拓のため出展費

※上記事例のように、市場対応型製品開発支援事業へステップアップするなど、事業化の段階に応じて当センターの補助を複数活用できます。詳しくはお問い合わせください。

[お問い合わせ] 公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター

企業振興部助成支援G TEL 011-232-2403 FAX 011-232-2011

- ◆道南支部（北海道立工業技術センター内）TEL 0138-82-9089 ◆十勝支部（帯広商工会議所内）TEL 0155-67-4515
- ◆釧根支部（釧路商工会議所内）TEL 0154-64-5563 ◆道北支部（旭川リサーチセンター内）TEL 0166-68-2750
- ◆日胆支部（室蘭テクノセンター内）TEL 0143-47-6410 ◆林檎支部（北見商工会議所内）TEL 0157-31-1123

北海道中小企業新応援ファンドは、中小企業基盤整備機構や北海道、札幌市、金融機関が資金を拠出して組成したもので、ファンドの運用益を基に、道内における新たな産業の創出や事業化を支援しています。